【資料①】

樋ノ口町(県道・武庫川パークロードの側道部)



県道を北から走行中に県道側の信号が赤に

①で右前方の側道に進み、②を直進 側道側の信号が青の間に③で県道へ復帰

> 通常、①から②に進んだ車両は スピードを落として右折する

スピードを保ったまま②を直進する 走行は極めて危険 (西側から②に進む車両等との接触)







5. 安全な道路環境の実現

【資料①】

苦楽園二番町(苦楽園小・西宮北高前の坂道)

【現地通行量調査】

8月6日(木)7:00~9:00 通行車両/102台(下りのみ)

長い下り坂の先に存在する急カーブ ②付近から道幅が狭くなり、歩道もなくなる

スピードを保ったまま通行する車両が危険 (雨天・凍結時はスリップすることも)











5. 安全な道路環境の実現

【資料②】

■自転車利用環境改善計画

2)生活道路における整備

新規

・生活道路においては、事故が多発する交差点など、安全で快適な自転車通行空間の整備を進める観点から、必要と考えられる場所では、路面標示や注意喚起看板等を設置し、交通安全対策を進める。

(3)注意喚起看板・路面標示の設置基準





以下で、

過去3年以内に人身事故が発生した場所 ≪※事故マップで場所を特定し設置する≫

- ・隅切りが無く見通しが悪い交差点
- ・自転車で速度が出やすい下り坂道の交差点
- ・人通りが多く歩道が無い道路



事故が発生した場所にしか設置しないのか?

⇒生活道路に関する対策が限定的。注意喚起看板·路面標示の 設置箇所や内容は地域の実情に応じたものであるべきでは?

■他自治体の事例



通行空間の明確化 (白転車・歩行者)

※出典:安全で快適な自転車 利用環境創出ガイドライン (国土交通省:警察庁)



自転車向けの 一時停止サイン

※出典:自転車利用環境 改善計画(西宮市)

■市内の危険箇所(例)



自転車の飛び出しが目立つ (上大市)



右側路地の見通しが悪い(平木町)

5. 安全な道路環境の実現

【資料③】

■苦楽園小学校の通学路



角石町~苦楽園二番町を結ぶ階段道 (約450m、通称:里道)

【西宮市内の不審者事案】

2017年度 160件 2018年度 302件 2019年度 239件

※日本不審者情報センターHPより (動物関連事案を除く)







■他自治体の事例

スーパー防犯灯

- ・通報ボタンと防犯カメラ付の防犯灯
- ・インターフォンで警察と通話可能
- ・赤色回転灯やサイレンで危機発生を周囲に伝える







写真:大阪府警HPより

loT等を活用した見守りシステム

(例) 東京都品川区「まもるっち」

児童が専用端末から発報
↓
センターに自動通報

危険が確認された場合は 端末のGPS情報をもとに 警察や地域協力者が駆付け

